

教育目標：心豊かに たくましく伸びていく子供



# 干布小学校だより

特別号 H30. 11. 20

天童市立干布小学校

校長 三好 義宏

## 学習の成果十分に有り 課題は少し 全国学力・学習状況調査結果を受けて授業改善を進めます

4月に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。本校の学力の状況は、全ての教科と領域において全国・県平均を大きく上回りました。

### 【学力の状況について】

平均正答率（％）

	国語 A（知識）	国語 B（活用）	算数 A（知識）	算数 B（活用）	理科
全国平均	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
山形県平均	71	54	63	51	62
本校平均	◎	◎	◎	◎	◎

※全国・県平均と比べて、◎：大変良い ○：良い △：課題がある ▲：大きな課題がある

県教育委員会の指示により、本校平均の数値は公表しません。実施の目的は、「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる」であり、本校での今後の授業改善に役立てていきます。本調査から明らかになった6年生の特徴的な傾向と、同時期に実施された5年生の山形県学力等調査の結果も含めて、学校全体の傾向を表す一つの指針として指導していきます。

本校の特徴的な傾向は次の通りです。

### 【よかったところ】

- ◎ 漢字の読み書き、計算問題などの知識・技能を問うA問題は、全問好成績です。
- ◎ 習得した知識・技能を活用する力を問うB問題で、県平均に比して低い正答率だった問題です。  
（国語B）文章を読んで「質問者の意図を捉える」、「司会者の役割について捉える」問題。  
（算数B）「角の大きさが360度であることの根拠を記述する」、「折り紙で作る輪飾りは100枚で間に合うことの根拠を記述する」問題。
- ◎ 理科では、「流れる水のたい積作用を理解する」、「実験結果から電流の流れ方について考察する」問題。

### 【課題となるところ】

- △ A問題では、算数では各問で県平均を下回ることはありませんでした。国語では、慣用句や漢字など、県平均を下回った3問が「言語事項」の分野に集中していました。
- △ B問題で、県平均に比して低い正答率だった問題です。  
（国語B）話し合いの文章を読んで「文脈に沿って自分の話す内容を書く」、「目的や意図に応じた呼びかけの文章を書く」問題。記述（書くこと）での表現力が落ちていました。  
（算数B）「輪飾りの色の規則性から、条件に合う色を判断する」問題。
- △ 理科では、県平均を大きく下回っていたのは1問で、「太陽の位置と太陽光発電の電流の変化を理解する」問題です。

大まかに言えば、国語では多様な「書くこと」に課題があり、算数では単純な計算で求められない算数的な考え方に課題があり、理科では実験の結果を応用して考えることに課題があります。

【学習や生活の状況について】 児童質問紙による学習や生活状況の調査の結果（抜粋）です。

	質問事項	本校 (昨年)	山形県 (%)	全国 (%)	備 考
①	朝食を毎日食べていますか。	◎ (◎)	86.5	84.8	「食べている」「どちらかとい えば食べている」の割合
②	毎日、同じくらいの時刻に寝ていま すか。	◎ (△)	77.1	77.0	「同じくらいの時刻に寝る」「ど ちらかといえば同じ」の割合
③	地域の行事に参加していますか。	◎ (◎)	89.9	63.8	「参加している」「どちらかとい えば参加」の割合
④	1 日当たりどれくらいの時間読書をし ますか。(月～金)	◎ (◎)	44.4	41.1	30 分以上の割合
⑤	テレビのニュース番組やインターネッ トのニュースを見ていますか。(携帯・ スマートフォンを含む)	◎ —	86.6	86.2	「よく見る」「ときどき見る」 の割合
⑥	学校の授業の予習・復習をしています か。	◎ (○)	72.8	62.6	「している」「どちらかといえ ばしている」の割合
⑦	土・日など学校が休みの日に、1 日当 たり何時間勉強しますか。(学習塾・家 庭教師に教わる時間も含む)	○ (○)	20.2	29.3	2 時間以上の割合
⑧	学校の宿題をしている。	◎ —	86.7	87.9	「当てはまる」の割合
⑨	自分には、よいところがあると思いま すか。	◎ (◎)	86.4	84.0	「ある」「どちらかというとな る」の割合
⑩	将来の夢や目標を持っている。	○ —	68.5	68.2	「持っている」の割合
⑪	いじめは、どんな理由があってもいけ ないことだと思いますか。	▲ (◎)	87.2	85.9	「いけないと思う」の割合
⑫	先生は、あなたのよいところを認めて くれていると思う。	◎ —	49.5	42.5	「当てはまる」の割合
⑬	家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のこ とを話すことがありますか。	◎ (◎)	79.2	80.5	「よく話す」「時々話す」の割 合

※全国・県平均と比べて、◎：大変良い ○：良い △：課題がある ▲：大きな課題がある —：昨年度項目なし等

直接テスト（教科）に関わる設問も含め 62 問でしたが、今回ピックアップした 13 問では、このよう  
に全国や県より有意に上回っている項目がほとんどでした。

①～③⑬の項目から、ご家庭での温かい配慮と子育て、安心して地域に出かけられる環境が整っている  
ことが分かります。⑨⑩⑫の項目は、この環境だからこそ、自己肯定感や自己有用感が備わってくるのだ  
と考えられます。⑪のいじめについては、今後、解消率をあげながら、心に響く指導を行います。④～⑧  
は、望ましい児童の生活習慣が身に付いていると思われます。しかし、学習時間がそれほど長くないこと  
は、TV視聴やゲームに時間が食われているのかもしれないかもしれません。ご家庭と協力していく必要を感じました。